

令和2年度技術・家庭科(技術分野)3年間を見通した指導計画

【関】関心・意欲・態度 【工】工夫・創造 【技】技能 【知】知識・理解

一部抜粋

学年	時数	題材名	学びをつなぐことができる生徒の姿	内容項目	学習内容	小・高等学校	教科等	地域・社会				
第1学年	1~8	う技術身の回りを活用して課題を解決する力を身に付けることのできる姿	A(1)アイ	○生活や社会を支える材料と加工の技術 (1)材料や加工の特性などの原理・法則と基礎的な技術の仕組み (2)設計の役割、問題発見と課題立て、設計を図に表す方法	4年理科「金属、水、空気と温度」 4、5年算数「立方体や直方体、円柱や角柱の見取り図や展開図や投影図」	1年理科「身の回りの物質」 1年数学「空間図形の見取り図、展開図や投影図」						
	9~22								A(2)アイ	○身の回りの問題を解決するための製品の製作 (1)条件(製作時間・使用工具・設計)を最初に踏まえ「作業工程表」をつくらせた上で①材料取り②部品加工③組み立て④仕上げを行う (2)出来上がった製品の振り返りのため、設計図との比較を行う	図工 ものづくりなどで使う道具や工具の使用経験	
	23~24								A(3)アイ	○材料と加工の技術と社会の発展 材料と加工の技術との向き合い方を考える		
第2学年	25~35	活用する力を身に付けることのできる姿	B(1)アイ	○生活や社会を支える生物育成の技術 (1)生物の成長などの原理・法則と基礎的な技術の仕組み	2年生活「植物の育成」 5年理科「植物の発芽、成長、結実」 5年社会「日本の農業や水産業」	1年理科「植物の体のつくりと働き」 2年理科「動物の体のつくりと働き」						
	36								B(2)アイ	○生物育成の技術の基礎学習と栽培実習 (1)生物育成の基礎知識について学習する (2)栽培計画を立て、養液栽培(リーフレタス)実習を行う (3)収穫後、養液栽培と土壌栽培を比較しながら振り返りを行う		
	37											
	38											
	39								B(3)アイ	○生物育成の技術と社会の発展 生物育成の技術との向き合い方を考える		
	40											
	41											
	42								C(1)アイ	○生活や社会を支える材料と加工の技術 (1)エネルギー変換の方法や伝達の仕組み (2)機器の基本的な仕組み (3)保守点検 (4)安全な利用法の学習を行う	3年理科「電気の通り道」 4年理科「電気の働き」 6年理科「電気の利用」	2年理科「電流とその利用」 3年理科「運動とエネルギー」
	43											
	44											
45												
46												
47~59	C(2)アイ	○LED照明の製作実習 (1)社会や環境へ与える影響を踏まえ、設計を行う (2)条件(製作時間・使用工具・設計)を踏まえ「作業工程表」をつくり①材料取り②部品加工・回路の製作③組み立て④仕上げを行う (3)課題を設定し、電気回路や力学的な機構などを工夫した設計を行う	3年理科「電気の通り道」 4年理科「電気の働き」 6年理科「電気の利用」 におけるものづくりの体験									
60	C(3)アイ	○エネルギー変換の技術と社会の発展 エネルギー変換の技術との向き合い方を考える										
61												
62	D(1)アイ	○社会を支える情報の技術 (1)情報の原理・法則を知り、デジタル化や処理の自動化について学習する (2)情報セキュリティ等に関わる基礎的な技術の仕組みや情報モラルの必要性について理解する	高「情報」 小学校5年生「社会」情報産業									
63												
64												
65												
66												
67												
68												
69												
70												
第3学年	71	え世の中の問題を解決する力を身に付けることのできる姿	D(3)アイ	計測・制御システムの基本的な構成や計測・制御システムの情報の流れについての知識・技能を身に付けている。【知】(I) 順次・反復・分岐などの基本的な情報処理の手順についての知識・技能を身に付けている。【知】(I) 利用者や社会への影響などを考え、プログラムを作成しようとしている。【関】(III) 情報処理の手順をプログラムに表現するための知識・技能を身に付けている。【技】(I) 安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグができる。技(1) 計測・制御の目的や条件に基づいてプログラムを作成することができる。【工】(II) 身の回りの計測・制御システムについての知識を身に付けている。知 使用目的・使用条件にあったプログラムを工夫して作成することができる。【工】(II)	○micro:bitを使って課題を解決してみよう ・温度を測定して表示するプログラムの作成を通して、計測・制御システムの基本を学習する	小学校各教科等「プログラミング」 高「情報」 3、4年「書くこと(ローマ字)」 5、6年「書くこと(引用、表、グラフ)」 小学校5年生「社会」情報産業						
	72											
	73											
	74											
	75											
	76											
	77											
	78											
	79											
	80											
	81											
	82											
	83											
	84											
	85											
86	D(4)アイ	○技術との向き合い方を考えよう ・これまでの技術の学習を振り返り、これからの技術の活用の仕方について考え、自分なりの技術観をまとめる	道徳 「主として他の人との関わりにかんずること(情報モラル)」									
87												